



「しあわせの隠れ場所」 評・前島 常郎

●ストーリー

実在の現役NFLスター、マイケル・オアアの半生を綴ったベストセラー『ザ・ブランド・サイド』を元に映画化された今年前半のヒット作である。



父の顔も知らず、薬物中毒の母から引き離されている身寄りのない黒人少年マイケル。凍てつく冬の夜リー・アン・トゥーヒは、彼が薄着でとぼとぼと歩いているのを見かねて呼び止め、家に連れて行く。

最初は一晚泊めるだけのつもりだったが、マイケルが今晚も身を横たえるところさええないことを知り、家族同然としての生活を始める。最後は正式に養子として引き受ける決意をする。

トゥーヒ夫妻はクリスマスチャンであり、物語の舞台もキリスト教主

義の学校である。

フットボール部に入ったマイケルは、コーチの指導によりリー・アンのアドバイスによつて選手としての技量に目覚め、数々の大学からスカウトがやってくるまでになる。

進学先としてリー・アン夫妻の母校ミシシッピ大学を選んだマイケルだが、自分を引き取った養親の動機に疑問を抱き、家を出てしまう。マイケルの将来はどうなるのか？

●お勧めの理由

偶然的な出会いから身寄りのない子を養子にすることになった夫婦そして家族が、その経験によつてかえつて多くのことを学び、家庭生活の幸せに目覚めていく過程は、新鮮である。毎日寝る自分のベッドがあること、おなかを満たす食べ物があること、衣服が足りていることなど、当たり前のものがそろう



いるありがたさを、マイケルを通してしみじみと味わうのだ。

リー・アンの友だちが「あなたは彼の人生を変えている」と誉めるが、彼女は、「彼が私を変えている」と言う。

マイケルは、家庭が崩壊していたため初めは読み書きも満足にはできないが、学校の先生や家庭教師が丁寧に説明をしさえすれば、いくらでも理解する力のあることが徐々に分かってくる。

友だちにとけ込めない黒人生徒を白い目で見る同級生がいるが、同じ学校に通うリー・アンの娘コリンズは、休み時間にあえて友だちの前を離れマイケルと同じ机で勉強し、「兄弟」であることを友だちにも印象づける。肌の色の違いを家族が一步一步乗り越えていく過程が興味深い。

●注意点

子どもと見ていたら恥ずかしくなる場面がいくつかある。リー・アン夫婦がベッド上でキスしあう場面、マイケルが母親の住んでいたアパートを訪れる時に、かつての仲間が卑猥なことばを浴びせる

場面、それに我慢できないマイケルは、つい暴力で応酬してしまう場面など。

また、リー・アンが大学に入学したマイケルに性行動を慎むよう注意するところで、少々品のない表現をする。

しかし、どれも目くじらを立てるほどのものではない。本編の主眼は、マイケルとリー・アンたちの家族愛にあるからだ。

サンドラ・ブロック しあわせの隠れ場所



ひとりぼっちの黒人少年と、ある家族の心の絆を描く感動の実話！

「しあわせの隠れ場所」

2010年米国映画128分
監督◆ジョン・ハンコック
主演◆サンドラ・ブロック(ゴールデン・グローブ賞主演女優賞受賞)
DVD販売元◆ワーナー・ホーム・ビデオ